

開講年度・学期	2017年度・前期集中	授業形態	講義
科目名	西洋法制史	科目ナンバー	JAFUN2206
英語表記	Legal History of Europe	担当教員	田口 正樹
単位数	4		

科目の主題

現在の課題と将来の方向について質のよい思考を行うためには、歴史的認識を養うことが一つの方法である。この講義では、西洋の歴史的基層をなす古代から中世中期までの時代を対象として、そこにおける国制（広い意味での憲法）の展開と、国制と法との関連をたどり、それを通じて西洋をより深く理解することをめざす。

授業の到達目標

西洋古代から中世中期までの国制の変遷を説明できる。各時代の国制と法との関連を説明できる。

授業内容・授業計画

全体を時代別に、1. 古典古代、2. 古代末期、3. 中世初期、4. 中世中期の4章に分けて講義する。それぞれの時代について、まず政治史の動きに簡単に触れたのち、国制の特徴と歴史的展開について説明し、あわせて国制と法との関連を論じる。講義の中では、教科書の関係箇所を参照するほか、日本語訳された史料を配布して、史料を通して理解を深められるようにする。

第1回	講義の紹介
第2回	I 古典古代（－3世紀） ギリシア・ポリスの成立
第3回	民主政ポリスの展開
第4回	民主政ポリスの変質
第5回	ローマの台頭と共和政の国制
第6回	共和政ローマの対外支配
第7回	共和政の終焉
第8回	元首政ローマの国制
第9回	元首政期の属州
第10回	II 古代末期（4－7世紀） 後期ローマ帝国の国制
第11回	後期ローマ帝国における法の変容
第12回	キリスト教とローマ帝国
第13回	ゲルマン系諸王国とローマの遺産
第14回	メロヴィング朝フランクの国制
第15回	III 中世初期（8－10世紀） カロリング朝フランクの台頭
第16回	カロリング朝フランクの国制
第17回	カロリング朝フランクの解体
第18回	ポスト・カロリング期の西洋世界（1）：東フランク＝ドイツ王国
第19回	ポスト・カロリング期の西洋世界（2）：西フランク＝フランス王国
第20回	IV 中世中期（11－13世紀） 教会改革の展開

第 21 回	カトリック教会の発展
第 22 回	中世都市の成長
第 23 回	中世中期ドイツの国制（1）：王権と貴族支配
第 24 回	中世中期ドイツの国制（2）：諸侯身分とラントフリーデ
第 25 回	中世中期フランスの国制（1）：王権の覚醒
第 26 回	中世中期フランスの国制（2）：諸侯領の展開
第 27 回	中世イタリアの国制と法
第 28 回	中世イングランドの国制と法
第 29 回	中世中期における法の発展
第 30 回	まとめ

事前・事後学習の内容

教科書の該当ページを事前に読んでおく。講義中に配布された史料も参照しつつノートを整理する。

評価方法

到達目標の達成度を筆記試験で評価する。

受講生へのコメント

教材

教科書として、服部良久・南川高志・山辺規子編著『大学で学ぶ西洋史[古代・中世]』（2006年 ミネルヴァ書房）を使用する。その他、講義中に史料・地図などを配布する。

その他

履修可能最低年次

2年次生以上